

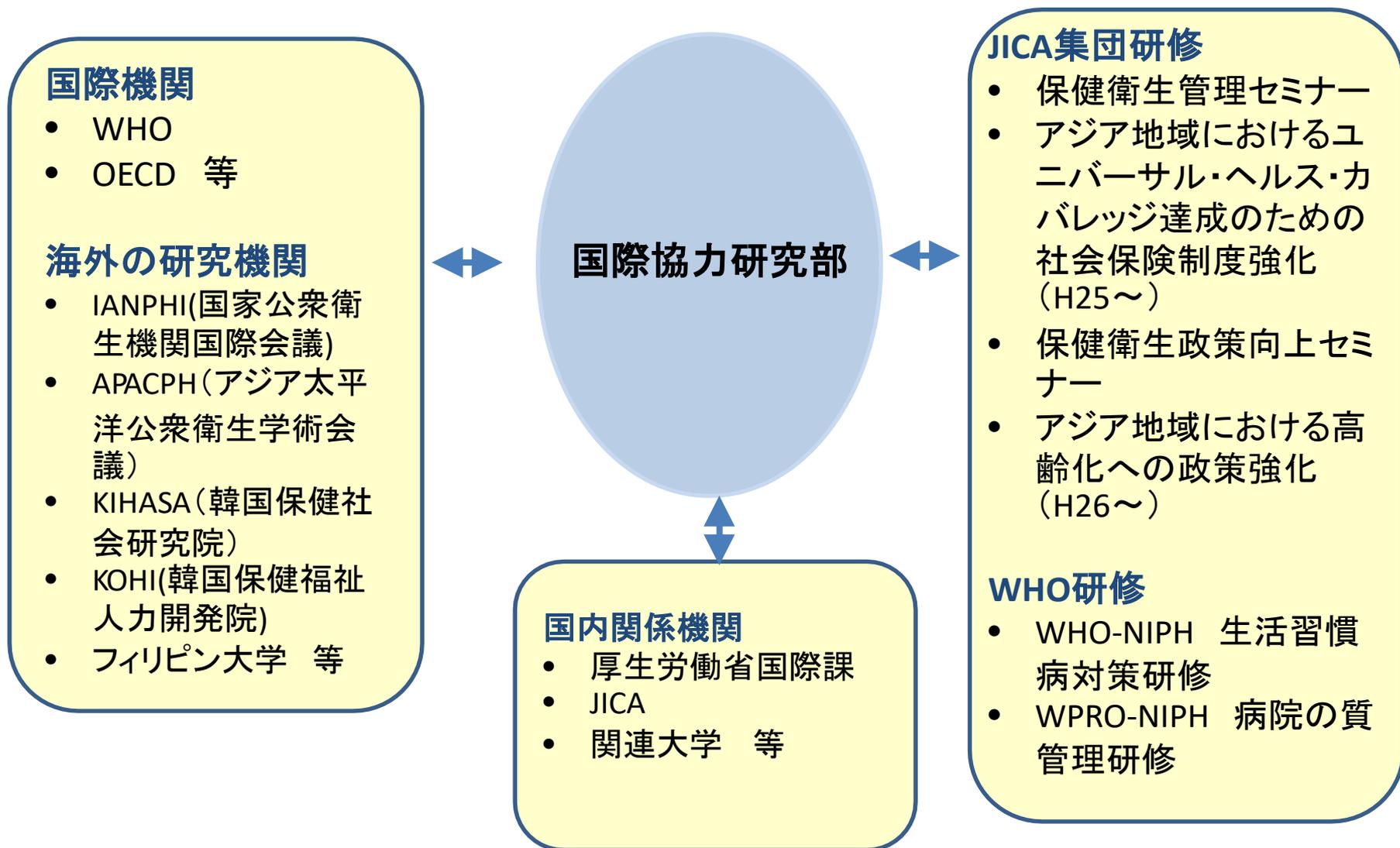
国際協力研究部の所管事項

1. 保健医療等に関する国際協力の企画、調整、実施及び評価
2. 保健医療等に関する国外の情報の収集及び分析
3. 国際保健活動に携わる人材の育成技術に関する研究と研修
4. 関連機関との連携、協力関係の促進



- WHO等の国際機関、国際協力機構(JICA)、海外の研究機関(フィリピン大学等)との連携
- 生活習慣病対策、ヘルスプロモーション、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ、水衛生など、わが国の知見・経験が役立つグローバルな健康課題について専門知識の供与、政策開発や人材育成面での協力
- わが国での公衆衛生の知見を国際保健に活用する

関係機関との連携に基づく国際研修



部員の専門性に応じた国内研修

■短期研修

歯科口腔保健推進研修、健康日本21（第二次）栄養研修、エイズ対策研修、児童虐待防止研修、公衆衛生看護管理者研修、生活習慣病対策研修、水道工学研修 等

■長期課程

専門課程コア科目（歯科口腔保健・健康日本21（第二次）、共通行事）臨床研修専攻科（分野責任、関連分野講義、海外臨地研修）、保健人口学、思春期・学校保健、母子保健各論等

主な研究テーマ

(1) 持続可能な開発目標に関する研究

- 持続可能性と科学的根拠に基づく保健関連ポストミレニアム開発目標のプロセス評価と評価枠組みに関する研究(厚労科研)
- 保健分野のポスト国連ミレニアム開発目標に向けた指標開発に関する研究(日本医療研究開発機構委託費)

(2) 生活習慣病(NCDs)対策に関する研究

- 生活習慣病対策プロジェクト(JICAとの連携事業、平成27年より5年間)への学術支援

(3) 高齢者ケアに関する研究

- ICT技術を用いた口腔機能評価システムの開発と口腔機能基準値の検討(科研費)
- 高齢化過疎地域における災害時の要援護者支援に関する研究(基盤的研究費)

(4) 水衛生

- 大規模災害および気候変動に伴う利水障害に対応した環境調和型水道システムの構築に関する研究(厚労科研)

＜活動事例＞

フィジー共和国の生活習慣病予防対策

- 途上国に共通する母子保健や感染性疾患などの伝統的保健課題に加えて、肥満や糖尿病などの非感染性疾患（NCDs）が深刻な保健問題となっていることから、2015年4月から5年間の予定で、このJICAプロジェクトが開始された。
- 本プロジェクトは保健医療サービス省ウェルネルセンターをカウンターパートとし、根拠に基づく対策の検討、実施運営能力とモニタリング評価体制の強化、成果普及のための体制強化を柱としている。
- 国際協力研究部は疫学調査のための短期専門家派遣、フィジー国保健大臣招聘受入れ等これまでの支援に加え、現地で実施されるNCDs対策のための人材育成ならびに調査分析に関して継続支援する予定である。



フィジーでのNCDsスクリーニング検査の実施状況